

2006年(平成18年)11月2日

## 秋田機械モス 工場で臨時総会

全国水道不断水協  
会内視鏡調査調

全国水道不断水内視鏡調査協会(会長代行)増山敦雄(西華産業研究開発部長)は10月17日、秋田市のコスモ工場秋田事業所会議室で臨時総会を開き、①会長選

考の関東本部設置③地区分割(中部地区・北越地区)④厚生労働省陳情⑤正会員・特別会員の入会承認⑥の5議案を審議し了承した。臨時総会は、今年4月の設立総会に次ぐもので、秋田市で開かれた日本水道協会の第75回総会ならびに併催行事「水道資機材展示会(秋田水道展)」の時期を捉えて開かれたもの。総会終了後には、コスモ工場秋田工場の最新鋭の製造・加工ラインを見学して水道用資機材の知見を深めた。

総会冒頭、松田茂樹MANNIX代表取締役が挨拶。「内視鏡による水道管路内の調査を行う商品が開発される」と同時に、全国に普及を図るための協会も発足した。道筋を付けるのはこれからであるが、どうしたら協会が成長・発展していくのか建設的な意見をまとめていたきたい」と、臨時総会の成果に期待を寄せた。

この後、増山会長代行が議長を務め、会長選考の経過報告、関東本部を東京都文京区本郷に設置したこ

と、中部地区を北越地区(新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県)と中部地区(山梨県・静岡県・愛知県・岐阜県・三重県)の2区に分けたことが事務局から報告された。

陳情活動では、9月19日に厚生労働省副大臣室および同健康局水道課を訪れて、「既設管路における不断水内視鏡調査の実施促進」「施工完了時における不断水内視鏡検査の義務化」について要望した。

正会員・特別会員の入会では、新規会員にダイトウア(北越地区)、アースワ

ク(長野県)、湯川工務店(群馬県下)、西田(群馬県下)、二友組(愛知県下)、山城土木(愛知県下)、イーアンドエス(埼玉県)、中里建設(栃木県)の8社が入会。特別会員には、長岡裕武蔵工業大学教授、伊藤禎彦京都大学大学院教授、大瀧雅寛お茶の水女子大学助教を迎え入れた。

また、日水協関西地方支部が11月8日から舞鶴市で開く第50回研究発表会で「不断水内視鏡による配水管内調査事例」をテーマに発表することが決まった。